

判定区分(2012年4月1日改定)

項目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察・生活改善	D1要治療・D2要精検 *1
体格指数 (BMI)	kg/m ²	18.5-24.9		-18.4, 25.0-	
腹囲 cm	男性	-84.9		85.0-	
	女性	-89.9		90.0-	
血圧 mmHg (2回測定:平均値)	収縮期	-129	130-139	140-159	160-
	拡張期	-84	85-89	90-99	100-
心拍数 (仰臥位)	回/分	45-85		40-44, 86-100	-39, 101-
眼底検査 (Scheie分類)		0	1	2	3-4
視力 (裸眼, 矯正両方の場合は矯正で判定) (悪い側で判定)		1.0-		0.7-0.9	-0.6
聴力 dB	1000Hz	-30		35	40-
	4000Hz	-30		35	40-
呼吸機能 (スパイロメトリー) (小数点1ケタ表記に変更) *2	1秒率(%)	70.0-		-69.9	-69.9
	%1秒量(予測1秒量に対する%)			80.0-	-79.9
	%肺活量(%)	80.0-			-79.9
総たんぱく	g/dL	6.5-8.0	8.1-9.0	6.0-6.4	-5.9, 9.1-
アルブミン	g/dL	4.0-		3.6-3.9	-3.5
クレアチニン mg/dL (eGFRを優先して判定) (小数点2ケタ表記に変更)	男性	-1.00	1.01-1.09	1.10-1.29	1.30-
	女性	-0.70	0.71-0.79	0.80-0.99	1.00-
eGFR(mL/分/1.73m ² による) (小数点1ケタ表記に変更)		60.0-		50.0-59.9	-49.9
尿酸	mg/dL	2.1-7.0	7.1-7.5	-2.0, 7.6-8.9	9.0-
総コレステロール	mg/dL *3	140-199	200-219	220-259	-139, 260-
HD L コレステロール	mg/dL	40-119		30-39	-29, 120-
LD L コレステロール	mg/dL	60-119	120-139	140-179	-59, 180-
中性脂肪	mg/dL	30-149	150-199	200-399	-29, 400-
AST (GOT)	U/L	0-30	31-35	36-50	51-
ALT (GPT)	U/L	0-30	31-40	41-50	51-
γ-GT (γ-GTP)	U/L	0-50	51-80	81-100	101-
FPG (血漿) 空腹時血糖	mg/dL	FPG:-99 かつ HbA1c:-5.1	1) FPG:100-109かつHbA1c:-5.4 2) FPG:-99かつHbA1c:5.2-5.4 1), 2) のいずれかのもの	1) FPG:110-125 2) HbA1c:5.5-6.0 3) FPG:126-かつHbA1c:-6.0 4) FPG:-125かつHbA1c:6.1-1 1) ~4) のいずれかのもの *5	FPG:126- かつ HbA1c:6.1-
HbA1c (JDS)	% *4				
赤血球数	10 ⁴ /μL	男性 400-539	540-599	360-399	-359, 600-
	女性	360-489	490-549	330-359	-329, 550-
白血球数	10 ³ /μL	3.2-8.5	8.6-8.9	2.6-3.1	-2.5, 9.0-
血色素量	g/dL	男性 13.1-16.6	16.7-17.9	12.0-13.0	-11.9, 18.0-
	女性	12.1-14.6	14.7-15.9	11.0-12.0	-10.9, 16.0-
ヘマトクリット %	男性	38.5-48.9	49.0-50.9	35.4-38.4	-35.3, 51.0-
	女性	35.5-43.9	44.0-47.9	32.4-35.4	-32.3, 48.0-
血小板数	10 ⁴ /μL	13.0-34.9	35.0-39.9	10.0-12.9	-9.9, 40.0-
CRP (小数点2ケタ表記に変更)	mg/dL	-0.30	0.31-0.99		1.00-
梅毒反応		陰性			陽性
HBs抗原		陰性			陽性
尿蛋白		(-)	(+-)	(+)	(++) -
尿糖		(-)		(+-)	(+) -

項目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察・生活改善	D1要治療・D2要精検 *1
尿潜血		(-)	(+-)	(+)	(++) -
便潜血 2回法	1回目	(-)			(+)
	2回目	(-)			(+)(+), (+)(-), (-)(+)
子宮頸部細胞診	ベセスダ分類	NILM		不適正標本=判定不能(すみやかに再検査)・ASC-US *6	ASC-H, LSIL, HSIL, SCC, AGC, AIS, Adeno carcinoma, Other malign
HCV抗体(初回のみ)		陰性			陽性

*1 値の高低、所見よってのD1要治療、D2要精検のいずれかを採用するかは任意とする

*2 呼吸機能検査は検者、被験者の良好の関係が数値を微妙に変えるので注意する

また、1秒率、%1秒量の組み合わせで閉塞性障害の重症度を判定する

1秒率が70%未満かつ%1秒量80%以上が軽症、79%以下が中等症以上と判定する

1秒率、%肺活量の組み合わせで閉塞性、拘束性、混合性換気障害と判定する

*3 総コレステロールよりLDLコレステロール判定を優先する

*4 判定区分でのHbA1cの表記はJDS値である。HbA1c(NGSP値)は $=1.02 \times \text{JDS値}(\%) + 0.25\%$ で変換可能である

*5 空腹時血糖、HbA1c(JDS)併合判定C区分の3)4)と判定した場合はOGTTを推奨する

*6 不適正標本はすみやかに再検査、ASC-USは6か月後再検査とする

*7 従前とおり治療中の場合はE判定とする

項目	検査方法
総たんぱく	Biuret法
アルブミン	BCG法
総コレステロール	酵素法
LDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
HDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
中性脂肪	酵素比色法、グリセロール消去(可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
クレアチニン	酵素法
尿酸	ウリカーゼPOD法
AST(GOT)	JSCC法
ALT(GPT)	JSCC法
γ -GT(γ -GTP)	JSCC法
空腹時血糖	酵素法、電極法
HbA1c	ラテックス凝集・比濁法、HPLC法
梅毒反応	梅毒脂質抗原使用法
CRP	ラテックス免疫比濁法